

兵庫で働こう・育てよう・かなえよう!

ひょうご 地域創生通信

そこにしかないものからの展開

ひょうごでかなえよう! プロジェクト

【CASE】関西学院大学朝来サテライトスタジオ
—八木研究室—

学生らしい斬新な発想と専門知識を駆使し
竹田城跡に頼らない観光まちづくりを提案

平成30年度
地域創生に関する主な施策

ひょうごで働こう! プロジェクト

【CASE】ミツ精機(株)

航空・宇宙機器部品を手掛ける
高度な技術力を誇る職人集団

【CASE】音羽電機工業(株)

雷対策一筋70余年、
国内唯一の雷対策専門メーカー

2018
Vol. 02
Spring

ひょうごでかなえよう！ プロジェクト

ひょうごで
働こう！
プロジェクト

ひょうごで
育てよう！
プロジェクト

ひょうごで
かなえよう！
プロジェクト

多彩な地域資源を生かした観光振興、若者等の起業、`攻めの農業`の展開など、あらゆる人が夢をかなえ、活躍できるような元気な地域づくりを進めています。

取り組んでいます

CASE

学生らしい斬新な発想と専門知識を駆使し 竹田城跡に頼らない観光まちづくりを提案



関西学院大学
朝来サテライト
スタジオ
-八木研究室-

サテライトスタジオに集まった地域の人たちと一緒に。手前は学生たちが地区の建物を一軒ずつ撮影し、CADで図面に起こして100分の1スケールで再現した手作りの模型。

雲海に浮かぶ幻想的な姿が`天空の城`としてメディアなどで取り上げられたことで、兵庫を代表する人気観光地となった竹田城跡。標高353mの山頂に広がる城跡は平成25年ごろから観光客が急増したものの、麓の朝来市竹田地区に立ち寄る人は少なく、恩恵を受けることはほとんどありませんでした。

その竹田地区の観光まちづくりに一役買っているのが、関西学院大学総合政策学部の八木康夫教授の研究室です。きっかけは、27年に始まった城跡と周辺の観光振興を考える朝来市のピ

ジョン会議に八木教授が委員として参加したことでした。昨年5月には、県の補助金を活用し、地区内の閉園した保育園を改装して拠点となる関西学院大学朝来サテライトスタジオを開設。その設計は建築の設計や計画を専門とする八木研究室が手掛け、工事期間中は大学院生が現場監督として毎日通ったといいます。

拠点完成後、ゼミ生らが竹田地区に通う回数は増え、「竹田城跡に頼らない観光まちづくり」のプラン立案に向けて取り組みは本格化します。まずは

地元の人たちの考えを知ろうと、地区の全住民を対象にアンケート調査を実施。また、カメラやスケッチブックを手元に地域の魅力を探し歩いたり、地元の

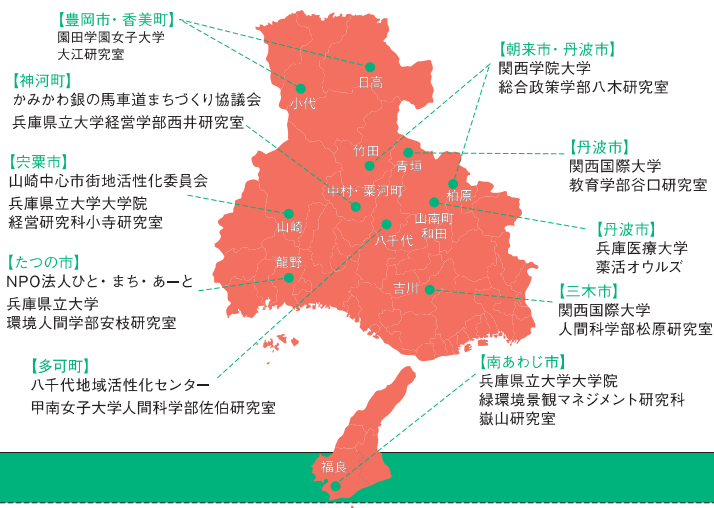


「朝6時台に撮影されたものが最も多く、夜は2枚だけ」など、過去10年分の朝来に関連する1,032枚のSNS投稿写真の分析結果の発表には大きな関心が寄せられました。

大学等との連携による 地域創生拠点形成支援事業

県内にある大学・大学院の研究室と地域やNPO等が地域活性化に向けて、拠点システムを整備し長期的に活動に取り組む際に、その改修費や活動経費を補助しています。

図 県地域交流室 ☎078-362-4314



人から話を聞いて回ったりと情報収集に奔走し、どこにどのような機能を持たせていくか、検討を重ねていきました。

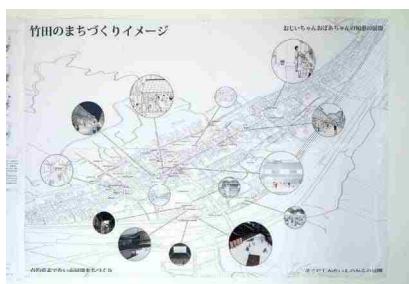
そして2月12日、地域の人をサテライトスタジオに招き、練り上げたプランを発表しました。「まち全体を旅館に見立て、空き家の古民家を宿泊所に改修する」「水路に舟を浮かべてレストランにする」など次々と披露される斬新なプランや根拠となる調査結果に、聴衆の表情も真剣味を帯びていきます。やがて、地域の人からも発言が相次ぎ、会場は意見交換会へと変化。「実現可能なも



ゼミ生たちが設計・作成した観光拠点となる施設の模型。山並みや雲海をイメージし、木工体験ができる工房を備えています。

のから、役割分担し実行したら盛り上がるのでは」「竹田のことをこんなに思ってくれて本当にうれしい。行動で恩返ししていきたい」といった声が地域の人から寄せられました。

「今後、地元の方たちの手で実行していく体制をつくり、提案を形にしていければ。その意味でも、サテライトを地区の皆さんにもっと活用してもらえる場所にしていきたいと思います」と八木教授。新年度からは具体化に向け、新たなステップに入ります。



立案したまちづくりのイメージ

● 学生の声



3年生
堀之内信さん

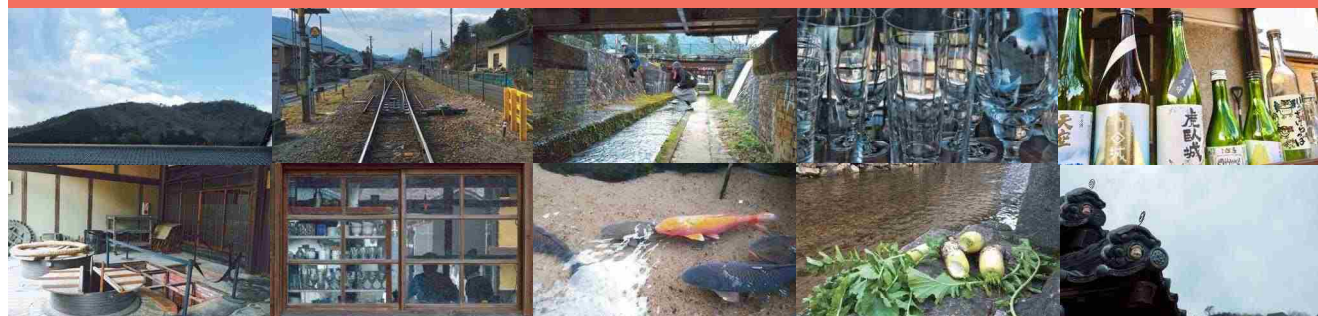
大阪出身なので竹田地区がどんな所かイメージが湧きませんでしたが、古い町並みが残る地域資源を全国に発信していきたいと思うようになりました。私たちのグループが考えたのは、廃線跡に使われなくなった車両を置いて中をレストランに改装したり、毎回異なるフードトラックを呼んだりすることです。実際に案が採用されるかもしれないという状況はモチベーションが上がり、楽しんで活動させてもらっています。



3年生
龍本雄大さん

「竹田城跡に頼らない観光を目指す」と聞いた時、本当にできるのかと不安がありました。でも、実際にまちを歩いてみると瓦屋根の木造建築が続く景観はとても美しく、情報の広げ方次第で観光客を呼び寄せられる所だと思うように。学生ならではの意見として今までにないようなものが展開できればいいですね。この貴重な経験は自分の将来にもきっと生きるはずなので、活動が本格化するのが楽しみです。

学生たちが撮影した竹田地区



ひょうごで働こう！ プロジェクト

ひょうごで
働こう！
プロジェクト

ひょうごで
育てよう！
プロジェクト

ひょうごで
かなえよう！
プロジェクト

県内には優れた技術を持つものづくり企業や従業員に優しい職場など、魅力ある企業が立地。
一人でも多くの若者が県内で就職し生き生きと働けるよう、さまざまな事業を展開しています。

ひょうごオンリーワン企業

優れた技術やノウハウで国内外から高い評価を受けている中小企業
を認定・顕彰しています。現在、16社を認定しています。

県産業政策課 ☎078-362-3342

✓ CHECK! /

認定企業の一覧と各社トップからのメッセージなどをホームページで公開しています。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr02/onlyone_k.html

認定されました！

CASE

航空・宇宙機器部品を手掛ける高度な技術力を誇る職人集団



若手技術者も多数活躍しています。



100台を超える最新工作機械がフル稼働しています。

来客用の駐車場に車を止めると、目に飛び込んでくる自衛隊のヘリコプターや戦闘機の数々。淡路市にあるミツ精機(株)は、航空・宇宙機器部品や医療機器部品の機械加工を得意とする会社です。

かつての主力製品は、産業用ニット編み機の部品。部品点数が多い上に大半が企業ごとにカスタマイズされているため、高い精度に加えてきめ細かい

対応が求められました。その精密加工技術が評価され、昭和54年からは航空機の部品加工を開始。実績を積み重ねることでジェットエンジンなど、より重要なパーツを任されるようになりました。

扱うのは、生産ロットが少なく、切削加工が難しい素材ばかり。部品の形状が複雑な上に、ミクロン単位の精度を求められます。しかし、「これはむしろチャンス！」と捉えて技術開発に取り組んだ結果、近年は人工衛星用の極めて精密な部品加工も受託しています。今では売上高の80%以上を航空機関連部品が占め、航空機製造メーカーのパートナーとして、なくてはならない存在となっています。



敷地内には自衛隊から貸与された実機が展示されています。

●Uターン社員の声



総務部
小川隆史さん

大阪工業大学工学部への進学を機に、4歳から暮らしていた洲本市を離れました。就職活動では最初、技術職を志望していたのですが、ある会社の採用担当者との出会い、「こんな人と働きたい」と思いました。そんな「人事の力」に魅了された時に大学の就職部から紹介された故郷・淡路島にあるミツ精機の募集職種が総務職だったので、「いざれ人事に携われるかも」と応募し、入社。3年目に念願の採用業務を任せられました。

自分を育ててくれた地元で働き、地域に貢献する。そんな働く喜びを感じられるのは、Uターン就職したからこそだと思います。今後の目標は、ミツ精機を今以上に社員が自信を持って家族に薦められる会社にする。人事の仕事を通じて少しでも貢献できればと思っています。

ふるさとで働く魅力

普段は静かな環境でゆったりと暮らしながら、神戸など都市部にもすぐ遊びに行けるアクセスの良さ。淡路島は山海の幸が豊富で食べ物おいしいのはもちろんですが、環境と利便性が両立している点が魅力ですね。

ミツ精機(株)

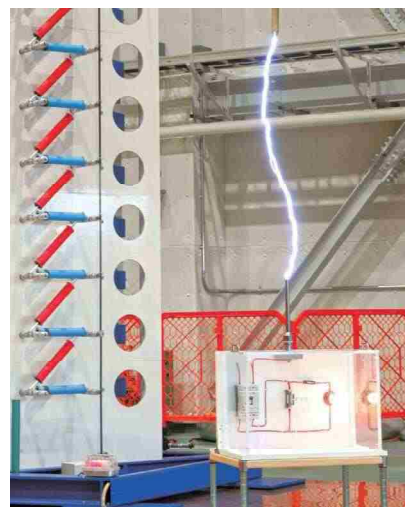
淡路市下河合301 ☎0799-85-1133

事業内容／航空・宇宙機器部品の機械加工(ジェットエンジン部品、脚部品、人工衛星の部品)、医療機器部品・その他精密部品等の機械加工およびアッセンブリー

雷対策一筋70余年、国内唯一の雷対策専門メーカー



22万アンペアの直撃雷を発生させることができる、世界最大級の雷電流発生装置。



高電圧試験設備での放電実験の様子。雷の電圧を模擬的に再現し、得られたデータを製品開発などに生かしています。



パソコンや家電製品を雷被害から守る商品も多数開発。身近な所で活躍しています。

高度情報化社会の進展により、私たちの生活は便利で快適になりました。しかし、その利便性と引き換えに、ネットワークで結ばれた社会の脆弱性が指摘されています。その一つが、落雷被害。例えばビルの近くに雷が落ちた場合、「雷サージ」と呼ばれる異常電圧が通信ケーブルなどからオフィス内に侵入し、パソコンをはじめとした情報通信システムが被害を受けるリスクがあるのです。

そこで必要となるのが雷対策。尼崎市に拠点を置く音羽電機工業(株)は、日本で唯一の雷対策専門メーカーとして70余年の歴史を重ねてきました。主力製品の避雷器^{※1}は、電柱をはじめ、携帯電話基地局、新幹線、清水寺、精密

機械工場、オフィスビルなど、世の中のあらゆる場所に設置されています。

同社の強みは、避雷器の心臓部に当たる酸化亜鉛素子^{※2}の研究開発から避雷器の開発・製造・販売、雷防護対策のコンサルティング、電気工事一式まで、雷対策に関わる事業を一貫して手掛けている点です。また、人工的に雷を発生させる世界最大級の雷電流発生装置を筆頭に、製品開発試験用の実験装置を取りそろえているのも大きな特徴。国産小型ジェット旅客機「MRJ」をはじめ、外部からの耐雷試験を引き受けるなど、幅広い方法で雷被害から社会や人命を守っています。



雷専門試験施設の「雷テクノロジーセンター」には、雷グッズが豊富にそろった「雷ミュージアム」も。

※1: 落雷による雷サージから機器を守る装置。音羽電機工業では雷サージの種類や電圧の違いなど各種の状況に応じた避雷器を扱っています

※2: 避雷器に組み込まれている特殊素材。雷サージから機器を保護する電気的特性を持っています

●Uターン社員の声



技術部
谷垣昌志さん

丹波市春日町で生まれ育ち、香川大学工学部材料創造工学科に進学。学部と大学院で学んだ後、関西を中心に就職活動をしました。世の中の役に立つ製品を作り多くの人を幸せにしたいという思いから、素材メーカーが候補に挙がりました。音羽電機工業に着目した理由も「素材」で、酸化亜鉛素子の研究開発まで自社で行っている点に魅力を感じました。

技術部の仕事は、設計から試作、試験、組み立て、営業まで多岐にわたります。入社後、図面の変更作業などを経て、部品の設計や評価試験を任されるようになりました。また、雷を模擬的に発生させて性能テストを行う世界最大級の装置などを案内する見学ツアーのオペレーターも担当しています。今後、避雷器以外の知識も身に付け、社会に役立つ製品をさらに手掛けていきたいです。

ふるさとで働く魅力

兵庫県は製造品出荷額が全国上位を占めるなど、製造業が集積している都道府県の一つです。それは、会社の選択肢が多いということ。その意味でも、兵庫県にUターン就職するメリットは大きいと思います。

音羽電機工業(株)

尼崎市名神町3-7-18 TEL 06-6429-3541

事業内容／避雷器など雷対策製品の開発・製造・販売、雷対策コンサルティング、電気工事など

カムバックひょうごセンターのご紹介

Facebookで情報を発信中!

東京と神戸のセンターの活動状況や移住・定住に関するイベント情報などをリアルタイムで掲載しています。

<https://www.facebook.com/comebackhyogo/>



☑ カムバックひょうごセンター(神戸)



平成29年2月に神戸クリスタルタワーにオープンし、関西圏を中心とした西日本在住の方からの移住相談を受け付けています。県内各地の市町や移住支援団体と協力し、一人ひとりと向き合う個別相談会も開催しています。

また、タワー内には「ひょうご住まいサポートセンター」や「ひょうご・しごと情報広場」もあり、移住の総合的な相談ができます。

開所日時＝月曜～金曜10時～18時30分、土曜10時～17時30分

神戸市中央区東川崎町1-1-3神戸クリスタルタワー6階

☎078-360-9971 ☎078-360-0071

相談員からのメッセージ



左:堀本 相談員
右:佐野 相談員

幅広い世代の方からお問い合わせがあります。相談の内容も「安心して子育てできる環境を」「第二の人生は理想の場所で」「夢をかなえるための場所探し」などさまざまです。

最初によく受けるのは「仕事」や「住まい」のご相談です。「仕事」については、同じビルの12階にある「ひょうご・しごと情報広場」

で専任の相談員がアドバイスします。「住まい」については、空き家バンクや県営住宅のお試し居住などもあります。各地域の移住体験ツアーなどの情報もあわせて案内しています。移住について漠然と考えはじめたという方にも丁寧に説明しますので、お気軽にご相談ください。



☑ カムバックひょうご東京センター



首都圏在住者の兵庫県へのUターン相談に対応するため、平成28年1月にオープンしました。

専門の移住相談員を配置し、移住相談や兵庫県内各市町の相談窓口への取り次ぎ、首都圏で開催される移住イベントへの出展はもちろん、就職・就農イベントや大学での出張相談も行っています。

開所日時＝火曜、水曜、金曜10時～18時30分、土曜10時～17時30分

東京都千代田区大手町2-6-2日本ビル3階

☎03-6262-5995 ☎03-6262-2730

相談員からのメッセージ



左:百田 相談員
右:清水 相談員

「地元に戻りたい」というUターン相談はもちろん、兵庫県出身でない方が情緒あふれる田舎暮らしに憧れたり、おしゃれで洗練されたイメージの都市部へ移住を希望されたりと、多彩な魅力のある兵庫県は幅広い層に人気があります。

中でも一番多いのは、「仕事があれば移

住したい」というご相談です。「農業がしたい」「温泉旅館で働きたい」「地場産業に携わりたい」など、兵庫の魅力的な仕事に興味を持って来所される方もいらっしゃいます。

「兵庫に戻りたい」「兵庫で仕事をしたい」とお考えの方は、ぜひ一度、気軽に当センターにお立ち寄りください。



東京センターに併設 カムバックひょうごハローワーク

兵庫県にUターン就職したい方のための相談カウンターとして、平成29年4月、カムバックひょうご東京センターに仲間入りました。県内を各市町に分けて求人検索できるので、効率良く仕事を見つけられます。応募したい企業が見つければ、

その場で紹介状も発行します。新卒・既卒、年齢、就職・転職を問わず、専属の相談員が希望に沿った仕事を一緒に探しますので、気軽にお越しください。

☎03-6262-6886(開所日時は東京センターと同じ)

三木市 ▶ 東京都 ▶ 兵庫県

“自分の育った県に尽くしたい” という思いから Uターンすることに決めました

／ Uターンします! ／



藤原莞大さん

三木市出身。高校までを市内で過ごし、18歳の時、日本大学文理学部への進学を機に上京。平成30年4月にUターンし、兵庫県庁に入庁予定。

Q 東京の大学を選んだ理由を教えてください。

A 一番の理由は、東京にはいろいろな場所からさまざまな人が集まっている点に魅力を感じたことです。そんな所で学生生活を過ごしたら、何か自分に変化が訪れるのではと思い、関東の大学に絞って受験しました。友達は関西に残る人が多く、東京に進学したのは少数派でしたね。両親は「自分の好きなことをしたらいい」と寛容で、「あなたが関東で勉強したいなら頑張りなさい」と特に反対することもなく送り出してくれました。二人には本当に感謝しています。

Q 進学先選びの決め手は何でしたか。

A 歴史が好きだったので、史学科のある日本大学を第一志望にしました。所属している文理学部はその名前が示すように、文学部の科目もあれば理系の科目もある学部です。同じキャンパスには社会学部や社会福祉

学部など社会系の学部も充実しているので、文学部、理学部、社会系学部と分野を横断していろいろと学べるところも自分にプラスになるかなと思いました。実際、学部間の垣根は低く、史学科でも歴史だけを学べばOKではなく、研究には科学的なことも必要だったりします。

Q 就職先に兵庫県庁を選んだ理由を教えてください。

A 就職活動を始めた頃は何をやりたいのか、まだ具体的な形になっていなかったのですが、兵庫県内で働きたいとは考えていました。公務員志望の友人が多く、その話を聞いていると、ふるさとに対して何か地道にできる仕事なのでは強く感じ、性格的にも合うのではないかなと思うようになり、公務員を志しました。その中で兵庫県庁を選んだのは、「どうせなら大きいことをやってみたい」という思いがあり、県全体を見渡せるところに魅力を感じました。そして、自分の育った県に

尽くしたいという思いから、Uターンすることを決めました。

Q やってみたい仕事はありますか。

A 地域創生や防災関係の分野に興味があります。また、陸上競技をずっとやってきたので、陸上を通して多くの人にスポーツに触れてほしいという思いがあり、スポーツ振興のようなこともやってみたいですね。

Q 兵庫県内で気に入りの場所を教えてください。

A 子どもの頃によく遊びに行ったり、高校時代に陸上部の部活動で走ったりした地元の三木ホースランドパークですね。気軽に馬と触れ合える施設はあまりないと思うのですが、ここではサラブレッドの馬が居るきゆう舎を自由に見学でき、乗馬体験やホーストレッキングなどもあります。家族で楽しめるいい所だと思うのでお勧めです。

移住サポート情報

詳しくはカムバックひょうごセンターにお問い合わせください

兵庫県内お試し移住ツアーを開催

県内の企業を巡る東京発のUターン就職応援ツアーや、地場産業や日本遺産などのスポットを巡る魅力体感ツアーを開催します。また、県の地方機関（県民局・県民センター）や各市町でも各種のお試し移住ツアーを開催しています。

仕事探しをサポート

カムバックひょうごハローワークでの就労相談や県外でのUターン合同企業説明会などを通じて、兵庫で就職を目指す方と魅力的な県内企業との出会いの場を提供しています。また、若者ごと倶楽部（ジョブカフェひょうご）では、自己分析から面接練習まで、キャリアマネージャーが就職活動を応援します。

県営住宅の入居資格を緩和／空き家活用に助成金

県外在住で夫婦の合計年齢が80歳未満の若年世帯、もしくは親世帯と県外在住の子孫世帯が新たに入居できるように県営住宅の入居資格を緩和しています。県外から兵庫県内への定住希望者に対し、入居期間が1～2年の「お試し居住」制度もあります。また、一戸建ての空き家を住宅や事業所、地域交流拠点として活用しようとする人に対し、改修費用を助成しています。

農林水産業への新規参入を応援

ひょうご就農支援センターでは、就農希望者や農業経営の規模拡大を目指す方など、対象者に応じた幅広い研修を行っています。県立森林高等学校では森林経営の即戦力となる人材を育成しています。また、農業・畜産業、林業、漁業に必要な施設や設備を貸し出し、新規に始めようとする人の初期投資を軽減しています。

県政150周年 記念事業

平成30(2018)年は、兵庫県が成立して150周年目に当たります。この節目に、県民の皆さんと一緒にこれまでの歴史を振り返り、兵庫の未来を考える機会とするため、「五国の魅力を磨く」「交流の輪を拡げる」「兵庫の未来を創る」をテーマに、記念事業を全県で展開します。



主な事業

＼ 例年の1.5倍規模の特別版！／

県政150周年みなと神戸花火大会

日程：8月4日(土)
会場：ハーバーランド周辺(神戸市中央区)
1万5,000発の花火が夜空を彩ります。



＼ 県民漁業祭も同時開催 ／

ひょうご五国博

日程：10月20日(土)～21日(日) 会場：県立明石公園とその周辺
多彩なステージや参加型イベントなど。

県庁発祥の地の整備

かつて兵庫津地域(神戸市兵庫区)にあった初代県庁の復元施設基本設計や県政資料館(仮称)の整備検討等を行います。

「兵庫2030年の展望(仮称)」

2030年頃の兵庫の姿とその実現に向けた取り組みの方向性を取りまとめ、公表します。

＼ 気軽にアートを楽しめる5日間 ／

県立美術館・博物館無料開放事業

日程：7月12日(木)～16日(月・祝)
県政150周年を記念し、県内全域の県立美術館・博物館等を無料開放します。

県政150周年記念式典

日時：7月12日(木) 会場：神戸国際会館(神戸市中央区)
県内外から約1,500人を招待し、盛大に開催します。

東京圏での県政150周年PRフェア

日程：7月2日(月)～15日(日)
会場：三井住友銀行本店東館(東京都千代田区)



県民連携事業

県民の皆さんが企画・実施する、創意工夫にあふれたさまざまな取り組みを支援します。

事業実施期間：2018年度中 助成額：1団体5万円～50万円
対象：県内で活躍する地域団体、ボランティア団体など

ひょうごで育てよう！ プロジェクト

若者の出会い・結婚支援、保育の受け皿確保、保育料軽減など、兵庫ならではの子育てしやすい環境づくりを進めます。

出会い・結婚支援

県内10カ所の地域出会いサポートセンターとひょうご出会いサポート東京センターでの1対1の個別お見合いなど、出会い・結婚支援事業を実施します。

成婚数…1,413組(平成30年1月末現在)

会員数…5,102人(平成30年1月末現在)

登録料…年間5,000円(20代会員は年間3,000円)

子育てにかかる経済的負担の軽減

医療費、保育料等の助成により、
子育ての経済的負担を軽減します。

●乳幼児等医療費助成

対象：小学3年生までの乳幼児・児童等(約35万9,000人)

●こども医療費助成

対象：小学4年生から中学3年生までの児童・生徒(約21万7,000人)

●ひょうご保育料軽減事業の実施

対象：第2子以降の子ども

(所得制限あり、国制度による負担軽減対象者を除く)

※市町によっては、県の助成範囲に上乗せした助成をしており、対象要件・所得制限・一部負担金等が異なる場合があります



ひょうごで働こう！ プロジェクト

「県内12万人大学生の定着」に向けた県内就職支援のほか、既卒者・UJIターン者の就職支援など、県内就職の促進策を展開します。

第2新卒者 県内企業就職促進事業

新卒就職者の約3割が入社後3年以内に離職することを踏まえ、いわゆる第2新卒者の県内企業への誘導を促進します。

- 第2新卒者向け転職サイトに兵庫県特集を掲載
- 第2新卒者向け企業説明会を開催



大阪での合同企業説明会

兵庫型奨学金返済支援制度 中小企業就業者確保支援事業

県内中小企業の人材を確保し、若者の県内就職・定着を促進するため、従業員の奨学金の返済負担軽減制度を設ける県内中小企業を支援します。

最大5年間支援！

支援対象者

対象中小企業に勤務し、以下の要件を全て満たす者

- 正社員である
- 30歳未満(申請年度末時点で29歳以下)である
- 日本学生支援機構の奨学金を受給し、返済義務がある
- 申請時点で県内事業所に勤務している
- 申請時点で当該企業就職後5年以内である

補助額

従業員は、県等と企業から合わせて年間最大12万円の補助を受けられます

新規就農者の 確保・育成加速化

県外からの就農希望者を確保するため、東京・関西での就農サポート機能を強化します。

- 就農フェアへの出展、カムバックひょうご東京センターと連携した情報発信、首都圏・近畿圏の大学(約400校)への就農情報提供
- 新規就農希望者向けのインターンシップの実施[短期(1~7日間)100人、中期(1~6カ月)25人の受け入れを予定]



就農フェアでの就農相談の様子

ひょうごで生き生き長寿！ プロジェクト

心身の健康づくり等個人の主体的な取り組み推進、介護予防、社会参加を促進する仕組みの確立など、意欲ある元気高齢者の社会参加を促進する社会づくりを推進します。

高齢者への学習機会の提供

元気高齢者の社会参加や、生きがいを支援するため、高齢者へ学習機会を提供します。

- いなみ野学園[4年制大学講座、大学院講座(2年制)、高齢者放送大学(ラジオ放送)]
- 阪神シニアカレッジ[4年制大学講座、ひと・まち創造講座(2年制)]



阪神シニアカレッジ(園芸学科でのフィールド学習)

ひょうごでかなえよう！ プロジェクト

若者等の起業の促進、次世代ものづくりの裾野拡大や中小企業の所得向上、世界を視野に入れた「攻めの農業」の展開、多彩な地域資源を生かした交流人口の拡大等により、あらゆる人が夢をかなえ活躍できる地域づくりを推進します。

起業家への支援

地域活性化を図るため、県内で起業(第二創業を含む)を目指す若者・女性・シニア・UJIターン起業家を支援します。また、ワーキングスペース等を備えた起業拠点「起業プラザひょうご」を神戸三宮に開設しています。

対象経費

起業経費(事務所開設費、初度備品費、広告宣伝費等)、空き家改修経費(水回り等改修費)、移住経費

補助上限額

起業経費、空き家改修経費、移住経費各100万円
※移住経費はUJIターン者のみ

補助率

必要経費の2分の1



起業プラザひょうごでのセミナーの様子

地域創生戦略の概要

2018年3月改定

戦略のフレーム

● 基本的な考え方

2060年の兵庫の姿を見据え、2020年までの5年間（2015-2019年度）の目標・施策を定めています

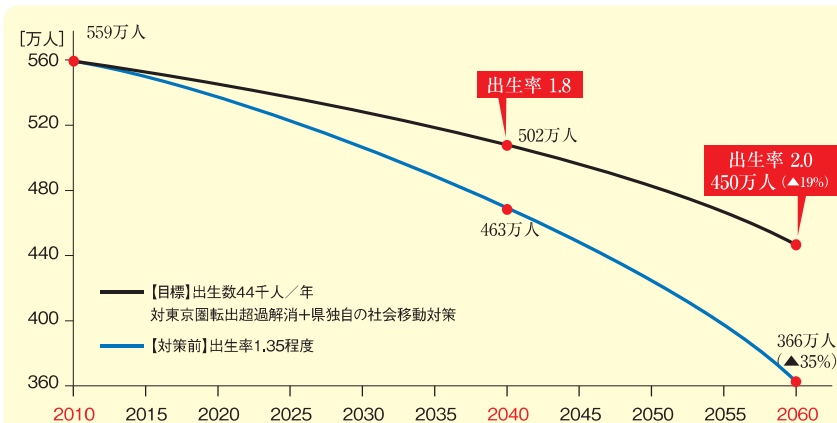
兵庫の多様なポテンシャルや多様な地域特性など“兵庫の強み”を生かし、全県一律ではなく各地域の個性に応じた重点的な施策展開を図ります

個性が異なる各地域（大都市圏、準大都市圏、地方都市圏、多自然地域圏）が「機能を分担し互いに補完する」「目標を共有し共に進化する」「融合し高次の発展を図る」ことで兵庫全体の総合力や魅力が高まるよう、「多様性と連携」を基本に取り組みます

● 将来の人口規模と経済状況

■ 2060年の人口450万人を目指します

■ 2050年代の県内総生産（GDP）成長率1.5～2.0%程度を目指し、県民総所得（GNI）に占める海外等からの所得の比率を高めます



● 改定のポイント

少子高齢化、人口減少が進む中、県民にいつまでも元気で活躍してもらえる社会を構築し、活力ある地域社会を実現するため、地域創生戦略に「健康長寿対策」を加え、4つの戦略目標としました。



生きたがいごとサポートセンター合同フォーラム

● 2020年までの5年間（2015～2019年度）に取り組む対策と目標

人口対策

「自然増」対策

● 子ども・子育て対策 出生数22万人（毎年44,000人）の維持

基本目標 1 多子型の出産・子育てが可能な社会を実現する

● 健康長寿対策 男女とも健康寿命を1歳延伸 **NEW**

基本目標 2 健康長寿社会をつくる

「社会増」対策 25,700人の流入増加（流出抑制）

基本目標 3 地域に根ざした産業を振興する

基本目標 4 人や企業・資本が流入する兵庫をつくる

基本目標 5 個性あふれる「ふるさと兵庫」をつくる

地域の元気づくり

県内総生産（GDP）：国を上回る成長率の維持

県民総所得（GNI）：海外等からの所得の比率上昇

基本目標 6 兵庫の産業競争力を強化する

基本目標 7 安全安心な健康福祉社会をつくる

基本目標 8 住みたい地域をつくる

基本目標 9 まちの賑わいを創出する

基本目標 10 県土空間の安全・安心を高める

ひょうご暮らし満喫中!

兵庫県にU・Iターンした人たちは、どのように決断し、どのような生活を送っているのでしょうか。移住ライブに迫ります。



【三田市】

笹部美佳さん



京都から兵庫へ

“子育て環境と選択肢の多さに引かれて三田市に移住。
音楽隊などの活動を通じて地域を盛り上げたい。”



三田に移住した時に撮影した家族写真。

楽器を演奏する女性たちのすぐ近くで、楽しそうに遊ぶ子どもたち。「三田市ママ音楽隊 サンダ ワ マミー」のいつもの練習風景です。

代表の笹部美佳さんが2人の仲間と音楽隊を結成したのは平成28年。「以前から子連れで音楽を楽しめる場をつくりたいと思っていたんです。三田市に移住後、同じような思いを持つママさんとSNSで知り合い、立ち上げることになりました」。今では親子31組の大所帯となり、演奏依頼がひっきりな



音楽隊の活動はママ友や子どもたちの交流の場にも。

しに入るほど人気を博しています。

中学と高校で吹奏楽部に所属し、クラリネットを担当。しかし出産後、楽器を手取る機会は減り、子どもを連れて音楽を聴きに行ける場も多くありませんでした。「音楽隊は私たち自身が演奏を楽しむ機会であり、子どもたちに生演奏を聴かせる機会にもなっています」と、活動の利点を話します。

移住先選びは ママ友情報を参考に

神戸市生まれ、奈良県香芝市育ち。大学卒業後、大阪の会社に就職しましたが、結婚を機に24年、京都府福知山市へ。娘の桜ちゃんを出産後は、書道教室を始めました。

三田移住のきっかけは、ご主人の転勤。「神戸市北区に転居し、そろそろマ

イホームを購入して落ち着いて暮らしたいなと思うようになって」と話します。神戸市北区と三田市で物件を探し、最終的に三田市けやき台に自宅を構えることにしました。

決断の参考にしたのは同じけやき台に住む友人からの情報でした。「買い物に便利で、子どもが遊べる公園も多い。何より幼稚園や小中学校が近く、習い事の教室も充実しています」。駅に近いことから大阪や神戸にも出やすくなったといいます。

「利便性と、選択肢の多さが三田を選んだ決め手ですね。同じように移住してきたママ友たちとは『三田って住みやすいよね』っていつも話しています」と笑顔を見せます。



書道教室には生徒の作品がずらり。

28年3月には自宅で書道教室をオープンさせ、生徒数は50人規模に成長。また、「さんだ住まいるチームメンバー」の1期生として、三田への移住をPRする活動にも参加しています。「多くのママが在籍している『サンダ ワ マミー』はまさに情報の宝庫。住民ならではの情報をお届けできないかなと思っています」と、移住を検討中の人に必要な情報を届ける方策を模索しています。

ひょうご生活・しごと・カムバックポータルサイト

夢かなうひょうご

<https://www.yume-hyogo.com/>

兵庫県への移住・定住、暮らしに役立つ「しごと」「住まい」「イベント情報」がそろったポータルサイトです。



ひょうご de START 会員募集中

夢かなうひょうご内の専用フォームから登録すると、次のようなサービスが無料で受けられます。

- 移住相談会、移住・定住イベントの情報が定期的に届きます
- 県内企業説明会、就職相談会、企業からの最新情報やメッセージなどの情報が定期的に届きます
- 各種相談会、説明会の予約ができるようになります
- 県や市町の移住担当課や就職担当課、県内企業が連携して、移住・定住・県内就業を徹底サポートします

メール相談フォームを活用してください

兵庫県について知りたいことから移住・仕事のことで、何でも気軽に相談できます。また、カムバックひょうごセンターへの来所予約も受け付けています。

兵庫県政150周年ポータルサイト

<http://www.hyogo150.jp/>

150周年の記念事業や関連イベントなど、最新の情報が入手できます。兵庫県の歩みが分かる映像のほか、まんが「兵庫の歴史」も順次公開予定です。



兵庫県公式 地域創生Instagram

https://www.instagram.com/love_hyogo/

「#lovehyogo」を付けて投稿された写真の中から、イチ押しの写真を兵庫県公式Instagramで紹介しています。フォロワー数は8,000人を超え、#lovehyogo投稿数も毎日増加中! フォトジェニックな兵庫の魅力に出合えます。



ぜひ、#lovehyogoを付けてすてきな写真を投稿してくださいね♪



ひょうごツーリズムガイド

<https://www.hyogo-tourism.jp/>

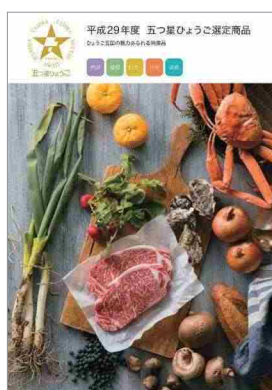
兵庫県の観光地や、穴場から人気のスポット情報、モデルコースを紹介。イベント情報やグルメ情報も満載のポータルサイトです。



五つ星ひょうご

<http://www.hyogo-bussan.or.jp/>

ひょうご五国の豊かな自然や歴史・文化を生かした商品のうち、`地域らしさ`に加えて、新規性やオリジナリティーなどの`創意工夫`が施された逸品を、統一ブランド名「五つ星ひょうご」として全国に発信しています。



県政150周年記念講演

京都大学大学院教授の伊藤之雄さんを講師に迎え、「近代日本を創った男―初代兵庫県知事 伊藤博文の挑戦1853～1909年―」をテーマにした講演会を開きます。当日は雅楽の演奏も。参加無料。

日時：3月27日(火) 13:30～15:00

(受付・開場13:00)

場所：兵庫県公館大会議室(神戸市中央区)

定員：300人(先着)

右のQRコードからアクセスし申請フォームから、または所定の申込書をファクス、Eメール、郵送で申し込んでください

県政150周年記念事業室

TEL 078-362-4263 FAX 078-362-3950

Eメール/hyogo150@pref.hyogo.lg.jp

http://www.hyogo150.jp/



伊藤博文



兵庫県政150周年記念事業 特別企画展 線路はつづく

―レールでたどる兵庫五国の鉄道史―

さまざまな役割を終えて県内各地に保存されている古レールをはじめ、県内の鉄道各社が戦前に発行した時刻表やパンフレットなどを展示します。



姫津線姫路津山間開通記念両方連絡ノ瞬間
工事員一同ノ万歳ノたつの市教育委員会蔵

場所：県立歴史博物館(姫路市)

期間：4月28日(土)～6月17日(日)

開館時間：10:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日：月曜(祝休日の場合は翌平日)

入館料：大人500円、大学生350円、高校生以下無料

県立歴史博物館 TEL 079-288-9011

https://www.hyogo-c.ed.jp/~rekihaku-bo/

淡路花祭2018春

花を通じて春の淡路島を楽しめるイベント。各施設ではチューリップや菜の花などが次々と見頃を迎えます。



期間：3月17日(土)～
5月27日(日)

場所：淡路島全島(県立淡路島公園、淡路島国営明石海峡公園、淡路夢舞台・奇跡の星の植物館、県立淡路景観園芸学校、あわじ花さじき、バルシェ香りの館、淡路市立香りの公園、ウェルネスパーク五色、淡路ふれあい公園、淡路ファームパーク・イングランドの丘 など)

淡路花祭推進協議会(事務局：(一財)淡路島くにうみ協会)

TEL 0799-24-2001 http://www.awajihanamatsuri.com/

「バス旅ひょうご2018」キャンペーン

4月1日(日)から31年1月31日(木)までの期間中、県内4つのエリアで1日または2日間自由に乗り降りできるお得な企画乗車券を販売します。ホームページでは、おすすめルートやスポットも紹介しています。

対象エリア(例)

- 但馬(大阪、神戸～城崎、湯村、竹田城跡)
- 西播磨(神戸、姫路～宍粟、たつの、赤穂)
- 丹波篠山(篠山城下町、立杭陶の郷めぐり)
- 北淡路(三宮、舞子～北淡路)

(公社)兵庫県バス協会 TEL 078-391-0543

http://bustabi.info/



兵庫県職員「私もUJIターンしました！」



都市計画課
岡本明奈

HYOGOのイチオシ

県のキャラクター、はばタンです。事業や行事を明るくかわいく盛り上げてくれる存在で、私も働きながら元気をもらっています。

多様な地域の多彩な人と仕事できるのが醍醐味です

宍粟市出身 ▶ 東京の大学に進学 ▶ 神戸市内の民間企業に就職 ▶ 兵庫県庁入庁

故郷の宍粟市は兵庫県の中でも西に位置する〆田舎〆なので、大学への進学は家を離れることが前提でした。県外に出る同級生が少なく、テレビや雑誌によく取り上げられる日本の首都を自分の目で見てみたいと、東京の大学に行くことを決めていました。向こうでの生活にはすぐなじみ、楽しい4年間の学生生活でした。

就職活動は東京と関西の両方でしました。でも、定年まで働きたいという思いがあったので、将来的なことを考えたら家族の近くに居た方がいいなと、関西に戻ることに決めました。就職したのは神戸に本社を構える製菓会社。5年半ずっと同じ部署で、テーマパークのお土産商品の企画営業を担当して

いました。

県庁への転職を考えたのは、長く働きやすい環境であることと、多様な業務内容で地域に携われる点に魅力を感じたからです。都市計画課に配属され、1年目は庶務を担当し、2年目の今年は同じ課内でも所属する部署が変わって商店街の活性化に向けた事業の担当に。商店街の店舗はもちろん、周りの住民も巻き込んでまちづくり協議会を立ち上げ、長期計画に基づいた継続的な活動を展開していこうという考えの下、モデル的に県内4つの商店街で組織を立ち上げたところです。多彩な地域の、いろいろな立場の人と一緒に仕事できるのが醍醐味です。

兵庫県地域創生ユースチームが発足！ ミッションは「若い発想で地域を元気にすること」

県内の若者たちが同世代をターゲットに、若者らしい自由な発想でイベントの立案やSNSを使った魅力発信などに取り組む「兵庫県地域創生ユースチーム」が今年1月に発足しました。メンバーは県内6大学の学生32人に加え、県と2市町の35歳以下の職員9人。計41人がグループごとに具体的な取り組み内容を企画・検討し、来年3月に具体的なプランを提言する予定にしています。今後の活躍にご期待ください！

現在、メンバーを追加募集中です。あなたも一緒に取り組んでみませんか。
参加申込書、詳細はポータルサイト「夢かなうひょうご」
(<https://www.yume-hyogo.com/>)



活動REPORT

1/19 委任状交付式・第1回全体会議 in 県公館（神戸市中央区）

委任状交付式

メンバーが初めて一堂に会し、顔合わせ。金澤副知事から一人ずつ委任状が手渡されました。



おすすめ事例共有

全国各地で展開されている地域創生の取り組みについて、メンバーが「面白い!」と思った事例をお互いに発表し、情報を共有しました。



グループ活動

持ち寄った事例を分類すると、「ブランド化」「資源活用」など8つのカテゴリに。各自が関心のあるテーマごとに集まった結果、6つのグループができました。それぞれ、「これからしていきたい活動」などを話し合い、今後に向けて思いを発表しました。

グループ名と取り組むテーマ

キャンパー

イベント開催による地域の魅力発信

Treasure Hunter

地域資源活用による地域活性化

地域コン〜おじコン×おばコン〜

地域資源を活用したまちづくり

ひょうごのなにしとん?

既存ツールを利用した魅力発信

よっ!友

地域のつながり促進によるまちづくり

もっと来てもらい隊

観光促進、交流人口の増加

他に加える要素は?



眠っている資源を磨いて
ブランドとしての価値を!



セミナーで スキルアップ

2月〜3月に計4回開催のセミナーで大学教授や企業の代表者などからレクチャーを受け、企画を立案・実行する上で必要なスキルを磨いています。

移住【各市町】

【神戸・阪神】

神戸市観光企画課 ☎078-322-6381

尼崎市政策課 ☎06-6489-6138

西宮市すまいづくり推進課 ☎0798-35-3772

芦屋市住宅課 ☎0797-38-2721

伊丹市都市ブランド・観光戦略課 ☎072-744-2088

宝塚市政策推進課 ☎0797-77-2001

川西市経営改革課 ☎072-740-1120

三田市まちのブランド創造課 ☎079-559-5012

猪名川町企画財政課 ☎072-766-8711

【播磨】

姫路市地方創生推進室 ☎079-221-2834

明石市シティセールス課 ☎078-918-5263

相生市定住促進室 ☎0791-23-7125

加古川市政策企画課 ☎079-427-9113

赤穂市市民対話課 ☎0791-43-6812

西脇市移住・定住促進室 ☎0795-22-3111

三木市縁結び課 ☎0794-82-2000

高砂市未来戦略推進室 ☎079-441-9904

小野市住むならおの推進グループ ☎0794-70-8402

加西市人口増政策課 ☎0790-42-8729

宍粟市地域創生課 ☎0790-63-3066

加東市企画協働課 ☎0795-43-0388

たつの市まち未来創造課 ☎0791-64-3167

多可町定住推進課 ☎0795-32-4776

稲美町企画課 ☎079-492-9130

播磨町企画グループ ☎079-435-0356

市川町総務課 ☎0790-26-1010

福崎町企画財政課 ☎0790-22-0560

神河町ひと・まち・みらい課 ☎0790-34-0002

太子町企画政策課 ☎079-277-5998

上郡町企画政策課 ☎0791-52-1112

佐用町定住対策室 ☎0790-82-0670

【但馬】

豊岡市エコバレー推進課 ☎0796-21-9096

養父市やぶぐらし課 ☎079-662-8294

朝来市あさご暮らし応援課 ☎079-672-1492

香美町企画課 ☎0796-36-1962

新温泉町商工観光課 ☎0796-82-5625

【丹波】

篠山市創造都市課 ☎079-552-5106

丹波市住まいづくり課 ☎0795-88-5039

【淡路】

洲本市企画課 ☎0799-24-7614

南あわじ市ふるさと創生課 ☎0799-43-5205

淡路市まちづくり政策課 ☎0799-64-2506

移住【NPO】

西播磨暮らしサポートセンター

上郡町光都2-25 西播磨総合庁舎内

開館時間／9:00～17:00（月～金）

休館日／土・日・祝日

☎0791-58-1252 <http://harikura-west.jp/>

たじま田舎暮らし情報センター

豊岡市中央町2-4 豊岡市役所4階

開館時間／9:00～17:00（月～金）

休館日／土・日・祝日

☎0796-24-2247 <http://www.tajima.or.jp/inaka/>

たんば暮らしファン交流ステーション

丹波市春日町中山192-1 NPO法人gift内

開館時間／9:00～18:00（月～金）

休館日／土・日・祝日

☎0795-78-9603 <http://gift.sc/>

あわじ暮らし総合相談窓口

洲本市中川原町中川原92-1 NPO法人あわじFANクラブ内

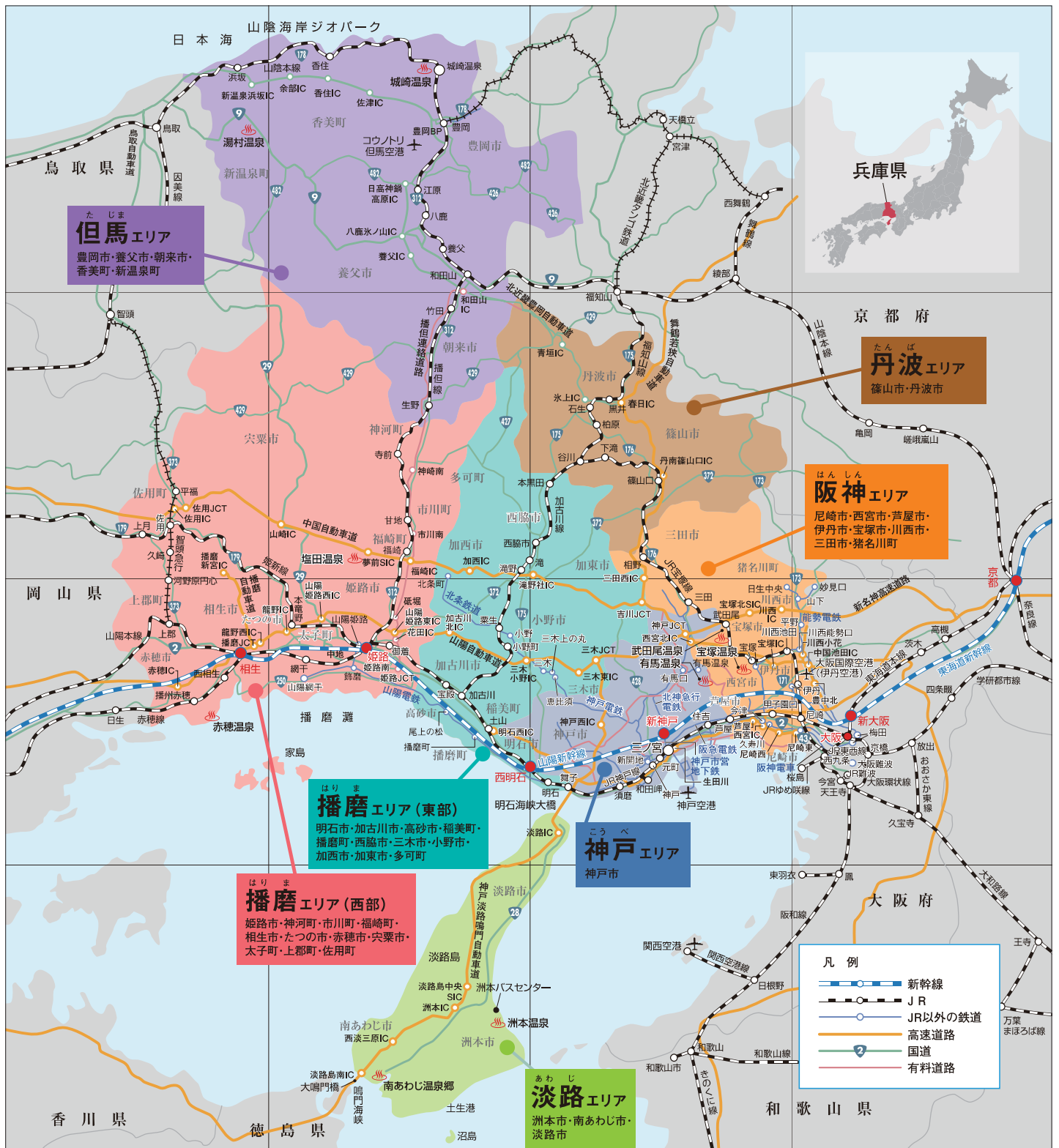
開館時間／9:00～17:00

休館日／年末年始

☎090-1247-1589 <http://awaji-fan.com/>

CONTENTS

- 02 ひょうごでかなえよう！プロジェクト
大学等との連携による地域創生拠点形成支援事業
- 04 ひょうごで働こう！プロジェクト
ひょうごオンリーワン企業
- 06 カムバックひょうごニュース
移住者Q&A / 藤原莞大さん（東京都→兵庫県）
- 08 平成30年度
地域創生に関する主な施策
- 10 地域創生戦略の概要
- 11 ひょうご暮らし満喫中！
- 12 地域創生のホームページ・SNS
- 13 イベント情報
- 14 地域創生NEWS
- 15 県内市町・関係機関の相談窓口
- 16 兵庫県地図・アクセス



■県外からのアクセス所要時間

鉄道						
新幹線	岡山	約20分	姫路	約2時間40分	東京	
	広島	約1時間		約16分	約1時間5分	名古屋
	博多	約2時間		約12分	約30分	新大阪
						京都
			地下鉄	約2分		
JR・私鉄	大阪	JR新快速 約20分	三宮	JR新快速 約50分	京都	
	梅田	阪急・阪神 約30分		阪急 約1時間10分	河原町	
	大阪難波	阪神 約40分				

※表記時間は目安です。ルートや利用便により異なりますのでご了承ください。
 ※駅名は鉄道により異なります。

飛行機	
神戸空港	ポートライナー 約18分
大阪国際(伊丹)空港	バス 約40分
関西国際空港	バス 約1時間5分

船	
高松(香川)	約4時間15分
北九州	約12時間30分
宮崎	約12時間20分
関西国際空港	約30分
神戸空港	約1時間